

令7 中学校・高等学校保健体育 (7枚のうち1)

(解答はすべて、解答用紙に記入すること)

I 学習指導要領(中学校:平成29年3月、高等学校:平成30年3月告示)について、あとの問いに答えなさい。

【中学校 保健体育】 第1 目標

体育や保健の(①)・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた(②)を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を(③)し豊かな(④)を実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における(⑤)について理解するとともに、基本的な(⑥)を身に付けるようにする。
- (2) 運動や健康についての(⑦)の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し(⑧)するとともに、他者に(⑨)を養う。
- (3) 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の(③)と(⑩)の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

A【体育分野 第3学年】 1 目標

- (1) 運動の合理的な実践を通して、運動の(⑪)や喜びを味わい、生涯にわたって運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、(⑩)の必要性について理解するとともに、基本的な(⑥)を身に付けるようにする。
- (2) 運動についての自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し(⑧)するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に(⑨)を養う。
- (3) 運動における競争や協働の経験を通して、《中略》、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。

【高等学校 保健体育】 第1款 目標

体育や保健の(①)・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた(②)を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を(③)し豊かな(④)を継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における(⑤)について理解するとともに、(⑥)を身に付けるようにする。
- (2) 運動や健康についての(⑦)や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し(⑧)するとともに、他者に(⑨)を養う。
- (3) 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の(③)と(⑩)の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

B【第1 体育】 1 目標

<中略>

- (1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の(⑪)や喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や(⑩)の必要性について理解するとともに、それらの(⑥)を身に付けるようにする。
- (2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し(⑧)するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に(⑨)を養う。
- (3) 運動における競争や協働の経験を通して、《中略》、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

- 1 文中の(①)～(⑪)に入る適切な語句を、それぞれ書きなさい。ただし、同じ記号には同じ語句が入る。
- 2 下線部A【体育分野 第3学年】1 目標、及び下線部B【第1 体育】1 目標の(1)(2)(3)は、それぞれ育成すべき資質・能力の3つの柱を示しており、(3)は「学びに向かう力、人間性等」である。(1)及び(2)は何を示しているか、それぞれ書きなさい。
- 3 次の表1は、学習指導要領(中学校:平成29年3月、高等学校:平成30年3月告示)解説において、各段階で示された「学びに向かう力、人間性等」に関する主な表記をまとめたものである。表中の(①)～(⑩)に入る適切な語句を、それぞれ書きなさい。ただし、同じ記号には同じ語句が入る。

表1

指導事項	中学校1年・2年	中学校3年・高校入学年次	高校その次の年次以降
ア 共通事項	積極的に取り組もうとする	(③)に取り組もうとする	主体的に取り組もうとする
イ 公正	勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとする	勝敗などを(④)に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする	
	(⑤)なプレイを守ろうとする 相手を(⑥)し、伝統的な行動の仕方を守ろうとする	(⑤)なプレイを大切にしようとする 相手を(⑥)し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとする	
ウ 協力・(①)	よい演技を認めようとする	よい演技を讃えようとする	
	仲間の学習を援助しようとする 分担した(⑧)を果たそうとする	互いに助け合い(⑦)合おうとする 自己の(①)を果たそうとする	互いに助け合い高め合おうとする (⑧)を積極的に引き受け自己の(①)を果たそうとする
エ 参画・(②)	話合いに参加しようとする	話合いに(⑨)しようとする	合意形成に(⑨)しようとする
	一人一人の(⑩)を認めようとする	一人一人の(⑩)を大切にしようとする	

令7 中学校・高等学校保健体育 (7枚のうち2)

(解答はすべて、解答用紙に記入すること)

4 次の表2は、学習指導要領(中学校:平成29年3月、高等学校:平成30年3月告示)に示された、発達段階に応じた段階的な指導方法のうち、「ネット型のボールや用具の操作とボールを持たないときの動きの例」を表したものである。表中の(①)～(⑨)に入る例として適切なものを、あとのア～ソからそれぞれ1つ選んで、その符号を書きなさい。

表2

技 能	中学校1・2年生	中学校3年生・ 高校入学年次	高校その次の年次以降
様 相	(①)	(②)	(③)
ボールや用具の操作	(④)	(⑤)	(⑥)
ボールを持たない ときの動き	(⑦)	(⑧)	(⑨)

- ア ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をする
- イ 個人やチームによる攻撃と守備によって、簡易化されたゲームをする
- ウ 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする
- エ 状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をする
- オ 状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をする
- カ 腕やラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むこと
- キ 得点しやすい場所への移動とパスを受けてからのシュート
- ク テイクバックをとって肩より高い位置からボールを打ち込むこと
- ケ ボールをコントロールして、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むこと
- コ 片手、両手、用具を使つての相手コートへの返球
- サ ラリーの中で、相手の攻撃や味方の移動で生じる空間をカバーして、守備のバランスを維持する動きをすること
- シ 相手の打球に備えた準備姿勢をとること
- ス ボールの方向に体を向けることとボール方向への移動
- セ チームの作戦に応じた守備位置に移動し、相手のボールを奪うための動きをすること
- ソ ラリーの中で、味方の動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーすること

II 中学校・高等学校体育における「水泳」の指導に関連する内容について、次の問いに答えなさい。

1 学習指導要領(中学校:平成29年3月、高等学校:平成30年3月告示)解説で示されている「水泳における健康・安全を確保すること」に関して、次の文中の(①)～(③)に入る適切な語句を、それぞれ書きなさい。

【中学校第3学年・高等学校入学年次】

健康・安全を確保するとは、水温や気温の低いときは活動の仕方や水に入る時間に配慮して活動する、自己の(①)や技能の程度に応じて段階的に練習するなどを通して、健康を維持したり自己や(②)の安全を保持したりすることを示している。そのため、プールや用具に関する取り扱い方、また練習場所に関する安全や体調に留意して運動するなどの留意点などを理解し、取り組めるようにする。

なお、(③)のまま水に落ちた場合の対処の仕方については、安全への理解を一層深めるため、各学校の実態に応じて取り扱うことができるものとする。

2 次の文章は、水泳の指導中に事故が発生した場合の応急手当について述べたものである。あとの問いに答えなさい。

ア 倒れている人に声をかけたり肩を叩いたりして、なんらかの「応答」や「しぐさ」の有無を確認します。
イ 反応がない場合や反応があるかどうか迷った場合は協力者を求め、119番通報とA自動体外式除細動器の手配を依頼します。
ウ 胸と腹部の動きを見て、10秒以内で呼吸を確認します。
エ 呼吸がない、あるいは(①)呼吸(しゃくりあげるような不規則の呼吸)の場合は、「(②)」とみなし、ただちに胸骨圧迫を開始します。胸骨圧迫は、強く(約5cm。乳児・小児に対しては胸の厚さの1/3)、B速く、絶え間なく(中断は最小限に)行います。
オ 人工呼吸の訓練を受けており、行う技術と意思がある場合は、胸骨圧迫と人工呼吸を1セットとして交互に繰り返します。
カ 自動体外式除細動器が到着したら、電源を入れて(③)を貼り、音声ガイドに従います。電気ショックの指示が出たら、周囲の人に離れるよう指示を出してから、除細動ボタン(ショックボタン)を押します。 【心肺蘇生法(厚生労働省)】

- (1) 文中の(①)～(③)に入る適切な語句を、それぞれ書きなさい。
- (2) 下線部Aを何というか、アルファベット3字で書きなさい。
- (3) 下線部Aは、命にかかわる医療機器のため日常点検・管理が重要となる。通常6年～8年と言われる、品質の有効性及び安全性の確保が維持される期間のことを何というか書きなさい。
- (4) 下線部Bのテンポは1分間にどれくらいか、解答欄に合わせて書きなさい。

令7 中学校・高等学校保健体育 (7枚のうち3)

(解答はすべて、解答用紙に記入すること)

3 次の文章は、救急救命処置における対応事例について述べたものである。この事例における下線部①授業実施の判断、下線部②教職員間の連絡、下線部③応急手当の手順、下線部④家庭への連絡について、それぞれの項目において適切であったものには○を、適切ではなかったものには×を書きなさい。ただし、状況については、文面から読み取れる範囲とする。

①6月下旬、午前10時頃の水泳授業(気温27℃、水温24℃、曇天、1時間に1mm以下の小雨)において、屋外プールで25mクロールの指導を行っていたところ、生徒Aが急にプールに浮かんだまま動かない状態となった。

教諭Bはすぐにプールに飛び込み、Aをプールサイドに救助し、肩あたりをたたき名前を呼んだが、反応がなかった。このため、②ティーム・ティーチングを行っていた教諭Cに、119番通報と養護教諭、管理職への連絡・応援を依頼し、体育委員Dに対して自動体外式除細動器を持ってくるよう指示した。

教諭Bは、③すぐさま気道確保を行い、胸骨圧迫を行った。自動体外式除細動器の到着後、電源を入れ、音声ガイドに従って準備を行い、脈拍を確認しながら除細動ボタンを押した。その後、胸骨圧迫を再開した。これらの手順を救急隊が到着するまで繰り返した。

④保護者への連絡は、搬送先病院が決まり次第、保護者の緊急連絡先へ電話連絡を行い、病院で詳細を説明した。

III 熱中症の予防について、次の問いに答えなさい。

1 熱中症について述べた次の文中の(①)～(⑩)に入る語句や数字として適切なものを、あとのア～トからそれぞれ1つ選んで、その符号を書きなさい。ただし、同じ記号には同じ語句が入る。

熱中症とは、暑さによって生じる障害の総称で、熱失神、熱けいれん、(①)、熱射病等の病型があります。運動をすると大量の熱が発生します。一方で、(②)の拡張と発汗によって体表面から熱を放散し、体温のバランスを保とうとしますが、暑いと熱放散の効率は悪くなります。このような状況で(③)機能の調節や体温調節が破綻して熱中症は起こります。暑い時のスポーツ活動では熱中症が起こりやすいので熱中症の兆候に注意し、**A**暑さ指数(WBGT)等により環境温度の測定を行い、**B**熱中症予防運動指針を参考に運動を行うなど、適切に対処する必要があります。

【スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック(公益財団法人日本スポーツ協会)】

学校管理下における熱中症死亡事故は、ほとんどが(④)・スポーツ活動によるもので、それほど高くない気温[(⑤)]でも湿度が高い場合に発生しています。熱中症を予防するためには、(⑥)を把握し、それに応じた運動、水分補給を行うこと。急に暑くなった時は運動を軽くして、数日から(⑦)週間程度で**C**徐々に暑さに慣れさせていくことや、(⑧)の条件を考慮すること、さらには、(⑨)に気を付けることが必要です。加えて、具合が悪くなった場合には早めに運動を中止し、必要な処置をすることが大切です。また、暑い中では、体力の消耗が激しく、(⑩)の質も低下し、効果も上がりません。熱中症予防のための運動方法、水分補給等を工夫することは、事故防止の観点だけでなく、効果的な(⑩)という点においても大変重要です。

【熱中症を予防しよう(独立行政法人日本スポーツ振興センター)】

ア 運動	イ 室内条件	ウ 25～30℃	エ 皮膚血管	オ トレーニング
カ 2	キ 30～35℃	ク 身体	ケ 部活動	コ 年齢
サ 環境条件	シ 3	ス 服装	セ 毛細血管	ソ 個人
タ 生理	チ 体育	ツ 熱疲労	テ 日射病	ト 体幹

2 下線部Aについて、環境省と気象庁が提供し、熱中症の危険性に対する「気づき」を促すものとして、府県予報区等単位のいずれかの暑さ指数情報提供地点において、翌日・当日の暑さ指数(WBGT)が33(予測値)に達する場合に発表される情報の正式名称を書きなさい。

3 下線部Bについて、次の表中の(①)～(③)に入る適切な語句や数字を、それぞれ書きなさい。

表

WBGT 【℃】	湿球温度 【℃】	(①) 【℃】	運動は 原則中止	特別の場合以外は運動を中止する。特に子どもの場合は中止すべき。
(②)	27	35	厳重警戒 (激しい運動は中止)	激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。運動する場合には、頻繁に休息をとり水分・塩分の補給を行う。体力の低い人、暑さに慣れていない人は運動中止。
↑↓ 28	↑↓ 24	↑↓ 31		
↑↓ 25	↑↓ 21	↑↓ 28	警戒 (積極的に休息)	熱中症の危険が増すので、積極的に休息をとり適宜、水分・塩分を補給する。激しい運動では、(③)分おきくらいに休息をとる。
↑↓ 21	↑↓ 18	↑↓ 24	注意 (積極的に水分補給)	熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。

4 下線部Cについて、体が暑さに慣れることで発汗量や皮膚血流量が増加し、発汗による気化熱や体の表面から熱を逃がす熱放散がしやすくなるような体の変化のことを何というか、漢字4字で書きなさい。

令7 中学校・高等学校保健体育 (7枚のうち4)

(解答はすべて、解答用紙に記入すること)

IV 雷への対応について述べた次の文中の(①)～(⑧)に入る語句や数字として適切なものを、あとのア～トからそれぞれ1つ選んで、その符号を書きなさい。ただし、同じ記号には同じ語句が入る。

雷は、(①)の位置次第で、海面、平野、山岳など場所を選ばず落ちます。また、周囲より高いものに落ちやすいという特徴があります。グラウンド、平地、山頂、尾根等の周囲の開けた場所にいと、人に落雷しやすくなるので、できるだけ早く(②)建築、自動車(オープンカーは不可)、バス、列車などの安全な空間に避難することが大切です。

【学校の危機管理マニュアル作成の手引き(文部科学省)】

安全な空間に避難できない場合は、電柱、煙突、鉄塔、建築物などの高い物体のてっぺんを(③)度以上の角度で見上げる範囲で、その物体から(④)m以上離れたところ[(⑤)]に退避します。高い木の近くは危険であるため、最低でも木の全ての幹、枝、葉から(⑥)m以上は離れます。また、姿勢を低くして、持ち物は体より高く突き出さないようにします。雷の活動が止み、(⑦)分以上経過してから安全な空間へ移動します。

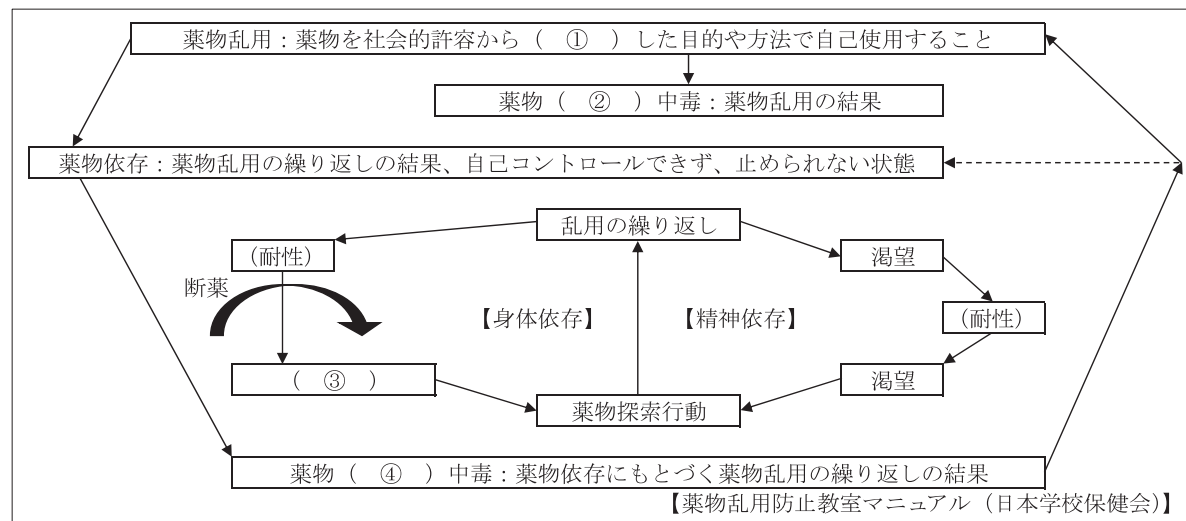
屋外での体育活動をはじめとする教育活動においては、落雷の危険性を認識し、事前に(⑧)ホームページにおいて雷注意報の発表状況や、実際にどこで雷発生の可能性が高まる予測となっているのかを地図上で確認できる雷ナウキャストなどの情報を活用するなど適切な対応が必要です。

【雷から身を守るには[(⑧)]】

ア 文部科学省	イ 運動部活動	ウ 木造	エ 8	オ 保護範囲
カ 4	キ 40	ク 身体	ケ 適正範囲	コ 年齢
サ 環境省	シ 鉄筋コンクリート	ス 積乱雲	セ 気象庁	ソ 45
タ 高積雲	チ 20	ツ 避雷針	テ 2	ト 30

V 薬物乱用に関する次の図を見て、あとの問いに答えなさい。

図



【薬物乱用防止教室マニュアル(日本学校保健会)】

- 1 図中の(①)～(④)に入る適切な語句を、それぞれ書きなさい。
- 2 薬物乱用に関して、近年、若者を中心に、市販薬を過剰摂取してしまうことが増加しており社会問題となっているが、この「薬の過剰摂取」のことを何というか、カタカナ7字で書きなさい。
- 3 次の表中の(①)～(④)に入る主な症状の説明として適切なものを、あとのア～エからそれぞれ1つ選んで、その符号を書きなさい。

表

薬物の名称	主な症状
覚醒剤	(①)
大麻	(②)
MDMA	(③)
コカイン	(④)

- ア 幻覚や妄想があらわれる。全身けいれんを起こすほか、死に至る場合がある。
- イ 知覚を変化させ、パニックを引き起こすこともある。乱用を続けると、学習障害、記憶障害などを起こす。
- ウ 幻覚や妄想があらわれ、精神や行動に異変を起こす中毒性精神障害になりやすい。使用をやめてもなんらかの刺激によって幻覚や妄想などが再び起こる。
- エ 知覚を変化させる。大量に摂取すると体温が急激にあがり、死に至る。
- 4 薬物乱用をやめてしばらくたった後でも、飲酒や強いストレスなどで、幻覚や妄想などが突然現れる現象を何というか書きなさい。
 - 5 すでに規制されている麻薬や覚醒剤の化学構造を少し変えた物質で、麻薬や覚醒剤と同等か、それ以上に危険な成分が含まれていることもある物質を総称して何というか書きなさい。
 - 6 コカイン、ヘロイン、覚醒剤など、他のさらに強い副作用や依存性のある薬物の使用への入り口となる薬物のことを何というか書きなさい。

令7 中学校・高等学校保健体育 (7枚のうち5)

(解答はすべて、解答用紙に記入すること)

VI 生徒の体力や技能の向上について、次の問いに答えなさい。

1 次の表は、新体力テストの項目と体力要素を表したものである。あとの問いに答えなさい。

表

新体力テストの項目	握力	(①)	長座体前屈	(③)	持久走または20m シャトルラン	50m 走	立ち幅跳び	ハンドボール投げ
体力要素	筋力	筋力、筋持久力	(②)	敏捷性	全身持久力	スピード	(④)	巧緻性、瞬発力

- (1) 表中の (①) ~ (④) に入る適切な新体力テストの項目または体力要素を、それぞれ書きなさい。
- (2) ハンドボール投げのテストを実施する際、中学校及び高等学校では何号球を使用するか書きなさい。
- (3) 全身持久力を高めるために、野山をかけまわりながら強度を上げ下げするトレーニングを何というか書きなさい。

2 トレーニング法について述べた次の文の (①) ~ (④) に入る適切な語句を、それぞれ書きなさい。

- (1) トレーニングには過負荷の原理、(①) の原理、(②) の原理という3つの原理がある。
- (2) トレーニングの負荷条件は、運動強度、運動 (③)、運動 (④) を考慮した上で設定する必要がある。

VII 運動種目における現行ルールや用語及びスポーツに関する時事について、次の問いに答えなさい。

- 1 陸上競技のリレー種目で、バトンパスを行うテークオーバーゾーンはセパレートレーンの場合、何mであるか書きなさい。
- 2 バasketボールにおいて、オフenseチームはボールをコントロールしてから何秒以内にシュートをしなければいけないか書きなさい。(オフenseチームがリバウンドを拾うなど例外的な場合を除く。)
- 3 ハンドボールにおいて、相手を片手及び両手で捕まえる反則を何というか書きなさい。
- 4 創作ダンスにおいて、集団の動きを少しずつずらした動きのことを何というか書きなさい。
- 5 器械運動の「マット運動」において、倒立は何系の技に分類されるか書きなさい。
- 6 テニスのラケットの握り方で、地面と水平に置いたラケットを真上から握るグリップを何というか書きなさい。
- 7 2024年パリオリンピックにおいて、初めて実施される競技名を、カタカナ5字で書きなさい。
- 8 主にランニングやジャンプなどの運動によって、ひらめ筋や後脛骨筋、長趾屈筋などの筋肉や筋膜が繰り返し引っ張られることで、すねの内側にある脛骨の骨膜が炎症を起こして痛みを伴うスポーツ障害のことを何というか書きなさい。
- 9 国際オリンピック委員会 (IOC) が正式に「オリンピック」を名称に用いてよいと認可した障害者スポーツの国際総合競技大会で、聴覚障害者のみを対象とした競技大会を何というか書きなさい。
- 10 2024年5月17日~25日に神戸総合運動公園ユニバー記念競技場で開催された世界大会は何か書きなさい。
- 11 2017年に文部科学省が策定した第2期「スポーツ基本計画」において、政策目標として掲げられた「スポーツが価値ある高潔な状態」のことをスポーツにおける何というか、カタカナ7字で書きなさい。
- 12 文部科学省や厚生労働省など、複数の省庁にまたがっていたスポーツ行政を一元化し、2015年に設置された文部科学省の外局の名称を書きなさい。

令 7 中学校・高等学校保健体育解答用紙 (7枚のうち6)

総計		



I	1	①		②			
		③		④			
		⑤		⑥			
		⑦		⑧			
		⑨		⑩			
		⑪					
	2	(1)		(2)			
	3	①		②			
		③		④			
		⑤		⑥			
		⑦		⑧			
		⑨		⑩			
	4	①		②		③	
		④		⑤		⑥	
		⑦		⑧		⑨	

I		

II	1	①		②		③		
	2	(1)	①		②			
		③						
		(2)			(3)		(期間)	
	(4)	() 回 ~ () 回 / 1 分間						
3	①		②		③		④	

II		

III	1	①		②		③		④	
		⑤		⑥		⑦		⑧	
		⑨		⑩					
	2								
	3	①		②		③		(分)	
4									

III		

令7 中学校・高等学校保健体育解答用紙 (7枚のうち7)



IV	①		②		③		④	
	⑤		⑥		⑦		⑧	

V	1	①		②					
		③		④					
	2								
	3	①		②		③		④	
	4								
	5								
6									

IV

V

VI	1	(1)	①		②	
		(2)	③		④	
	(3)	(号球)		(3)	(走)	
	2	(1)	①		②	
		(2)	③		④	

VI

2(1)及び(2)はともに順不同

VII	1		(m)	2		(秒)
	3					
	5		(系)	6		(グリップ)
	7					
	9					
	11					

VII

令7 中学校・高等学校保健体育模範解答 (7枚のうち6)

総計	200

I	1	①	見方		②	学習過程	
		③	保持増進		④	スポーツライフ	
		⑤	健康・安全		⑥	技能	
		⑦	自他		⑧	判断	
		⑨	伝える力		⑩	体力	
		⑪	楽しさ				
	2	(1)	知識及び技能		(2)	思考力、判断力、表現力等	
	3	①	責任		②	共生	
		③	自主的		④	冷静	
		⑤	フェア		⑥	尊重	
		⑦	教え		⑧	役割	
		⑨	貢献		⑩	違い	
	4	①	ア	②	ウ	③	エ
		④	ク	⑤	カ	⑥	ケ
		⑦	シ	⑧	ソ	⑨	サ

I	64

II	1	①	体調		②	仲間		③	着衣	
	2	(1)	①	死戦期			②	心停止 (心肺停止も可)		
			③	電極パッド						
		(2)	AED			(3)	耐用 (期間)			
	(4)	(100) 回 ~ (120) 回 / 1分間								
3	①	○	②	○	③	×	④	×		

II	22

III	1	①	ツ	②	エ	③	タ	④	チ
		⑤	ウ	⑥	サ	⑦	カ	⑧	ソ
		⑨	ス	⑩	オ				
	2	熱中症警戒情報 (熱中症警戒アラート)							
	3	①	乾球温度		②	31		③	30 (分)
4	暑熱順化								

III	30

令7 中学校・高等学校保健体育模範解答 (7枚のうち7)

IV	①	ス	②	シ	③	ソ	④	カ
	⑤	オ	⑥	テ	⑦	チ	⑧	セ

V	1	①	逸脱			②	急性			
		③	禁断症状			④	慢性			
	2	オーバードーズ								
	3	①	ウ	②	イ	③	エ	④	ア	
		4	フラッシュバック							
		5	危険ドラッグ							
6		ゲートウェイドラッグ								

IV	16

V	24

VI	1	(1)	①	上体起こし		②	柔軟性	
			③	反復横跳び		④	瞬発力	
	2	(2)	2	(号球)	(3)	クロスカントリー (走)		
		(1)	①	可逆性			②	特異性
2	(2)	③	時間			④	頻度	

VI	20

2(1)及び(2)はともに順不同

VII	1	30	(m)	2	24	(秒)
	3	ホールディング		4	カノン	
	5	巧技	(系)	6	ウエスタン	(グリッパ)
	7	ブレイキン		8	シンスプリント (脛骨過労性骨膜炎)	
	9	デフリンピック		10	世界パラ陸上 (競技選手権大会)	
	11	インテグリティ		12	スポーツ庁	

VII	24